

20

新たな時代を迎えて

佐渡市長 三浦基裕



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、山形県沖地震をはじめ、日本列島に相次ぎ上陸した台風は各地に大きな爪痕を残し、本市においても果樹等の農作物被害が発生しました。近年毎年のように多発する自然災害への防災・減災対策はより重要となります。

さて、令和という新たな時代の幕が上がりましたが、地球規模で進む気候変動をはじめ、少子高齢化そして人口減少という「日本社会の縮小」は今後もさらに加速していきます。

このような背景の中、十年後となる令和11年度の佐渡市のあるべき姿を念頭に置き、第二次佐渡市将来ビジョンの策定を進めています。市民の皆さまのご意見もお聴きしながら、すべての世代がしっかりと共生できる島づくりを目指します。そのために「歳入の確保」、「歳出の削減」、「行政運営の見直し」の三つの改革を進めながら、医療・介護・福祉・子育て・教育・防災減災対策などに重点をおいて取り組んでまいります。

また、佐渡を大きく四つのエリアに分けての振興策を進めます。それぞれのエリアの特性や資源を活かした地域づくりに努めるほか、農林水産業の再生を目指し、担い手確保のための支援を強化するとともに、六次産業化や第二創業を促進し、地産地消や外貨獲得のためのブランド力アップなど、島内経済の活性化につなげてまいります。

結びに、佐渡金銀山の令和4年の世界遺産登録に向け、今年の国内候補に選定されるよう取り組んでまいりますので、市民の皆さまからも引き続き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とします。

新年のご挨拶



佐渡を世界遺産に